

地村さん 蓮池さん 家族帰国

曾我さんは北京で再会へ

【平壤22日共同】小泉純一郎首相と北朝鮮の金正日総書記の首脳会談は、二十一日、平壤市郊外の大同江迎賓館で約一時間半行われ、拉致被害者家族八人のうち



政府専用機予備機に向かう地村さんと蓮池さんの子どもたち。22日午後6時27分、平壤国際空港（代表撮影・共同）

五人の帰国が決定した。曾我ひとみさん(45)の夫で元米兵のジェンキンスさん(64)は来日に難色を示したため、娘一人とともに早

で協議することで一致した。帰国したのは地村保志さん(48)富貴恵さん(48)夫妻の長女(22)、長男(20)、一男(16)、蓮池薫さん(46)祐木子さん(48)夫妻の長女(22)、長男(19)。

期に北京で曾我さんと再会することになった。金総書記は安否不明者十人の本格的な再調査の早期実施を約束。調査には日本側も参加する。拉致被害者家族五人は、政府専用機予備機で二十一日午後九時十五分ごろ羽田空港に到着。一年七カ月ぶりに両親と再会を果たした。

一〇〇二年十月の拉致被害者帰国から一年七月にわたった家族帰国問題は五人について成果を得た。首相は平壤での記者会見で今後モ拉致問題解決に取り組む決意を強調したが、与野党内では評価が割れている。

小泉首相は首脳会談で拉致被害者家族の帰国など一定の進展が図られたと判断。人道的見地から国際機関を通じて二十五万トンの食糧支援、一千万トンの相当の医薬品支援を今後一、二カ月をめどに実施することを表明した。両首脳は国交正常化交渉再開に向け事務当局間

で協議するとして一致した。首相はジェンキンスさんについて、金総書記が「本人の意思に任せる」と述べたため、首脳会談後、約一時間本人と面談して来日するよう説得した。しかし、来日した場合に「米国に身柄を引き渡されるのではないかと強い懸念(首相)があり、了承しなかった。

めどに実施することを表明した。両首脳は国交正常化交渉再開に向け事務当局間

で協議するとして一致した。首相はジェンキンスさんについて、金総書記が「本人の意思に任せる」と述べたため、首脳会談後、約一時間本人と面談して来日するよう説得した。しかし、来日した場合に「米国に身柄を引き渡されるのではないかと強い懸念(首相)があり、了承しなかった。

購読の
お問い合わせは

東奥日报社販売局



0120-46-5939

24時間受付